

PWR	加圧水型原子炉	加圧水型軽水炉	加圧水型炉
-----	---------	---------	-------

## 加圧水型軽水炉 かあつすいがたけいすいろ

Pressurized water reactor (PWR) . 燃料として低濃縮ウランを一次冷却材として軽水を使用し、高圧の一次冷却系統とタービンへ蒸気を送る二次系統とが蒸気発生器を介して分離された間接サイクル方式による発電用原子炉。現在、わが国の発電用原子炉の中で最も多く稼働している軽水炉（LWR）には、加圧水型（PWR）と沸騰水型（BWR）の2つの型がある。PWRは、減速材と冷却材として軽水を用い、炉心部における一次冷却材の沸騰を抑制するために一次冷却系統は100～160気圧くらいの高い圧力をかける。この冷却材の軽水（一次冷却水）は沸騰することなく加熱され高温水となり蒸気発生器に導かれる。この高温の冷却材は蒸気発生器において別の水（二次冷却水）に熱を伝えてこれを蒸気に変え、発電機のタービンを駆動させる。

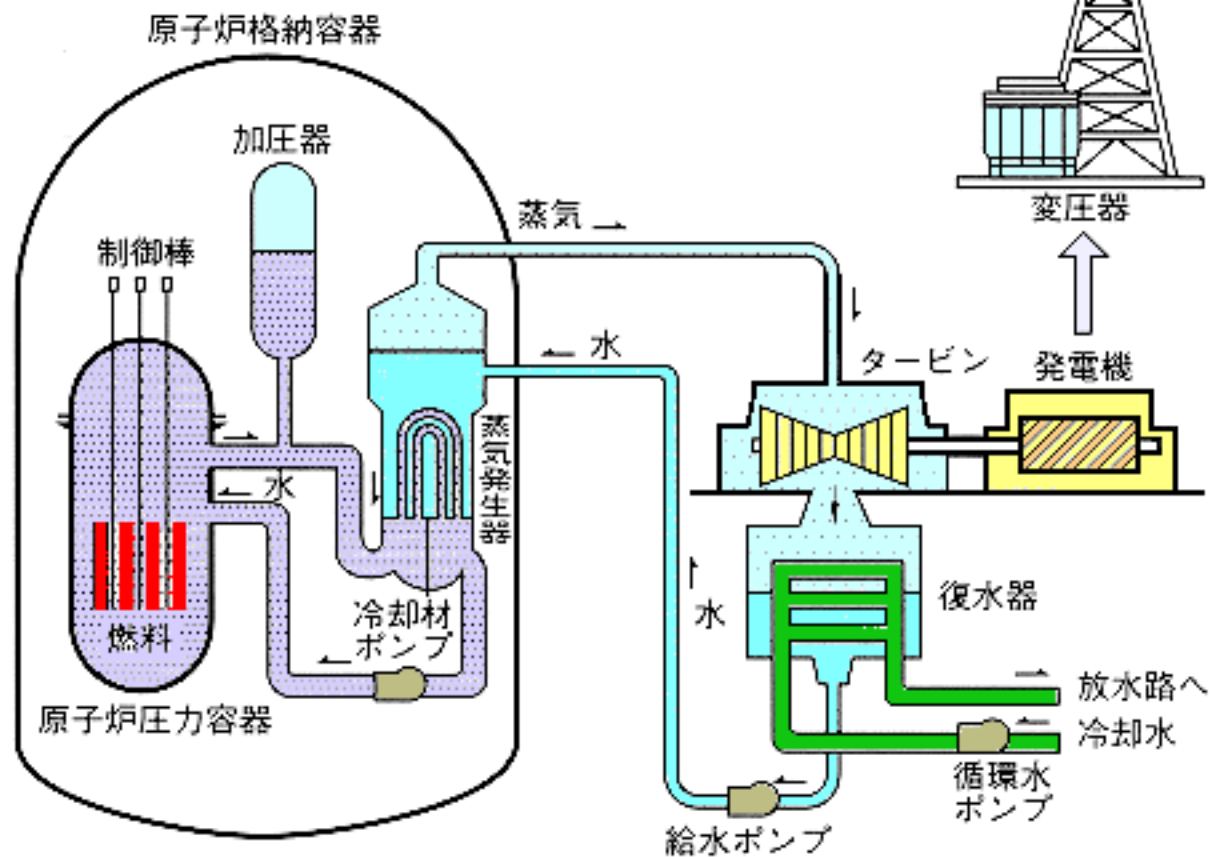
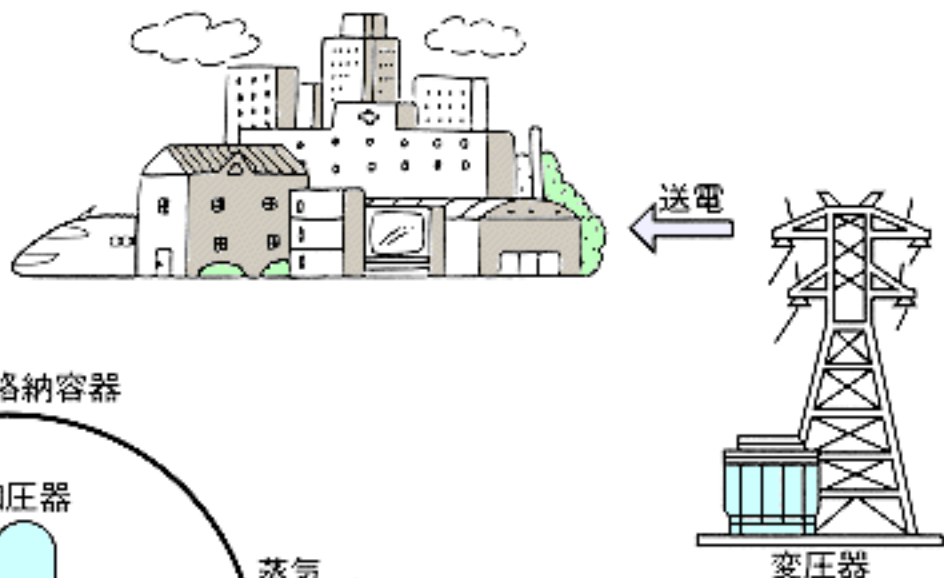
---

<登録年月>

2001年09月

---

---



## 加圧水型原子炉(PWR)原子力発電のしくみ

[出典] 電気事業連合会 (編) 原子力図面集 - 1997年版 -、p99